

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーの未来はあなたの手の中に
The Future of Rotary Is in Your Hands
国際ロータリー会長 John Kenny



世界にも目を向けよう
Reaching Out to the World
富津中央RC会長 志波 克

2009～2010

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2128 第12回例会(3クラブ合同) 2009. 9. 24 晴

点 鐘 : 志波 克 会長

進 行 : 大網庄一郎 副 SAA

ソング : 奉仕の理想

お客様 : 第 2790 地区ガバナー 中村博亘 様
第 4 分区ガバナー補佐 山田修平 様

このガバナー公式訪問により、最新のロータリー諸情報や問題への知識が深まり、一層奉仕への意欲が向上するものと考えます。今日一日がロータリーの将来に向け有意義な日となる事を祈念して御挨拶とします。

富津RC会長 黒川治雄

会長挨拶

富津中央RC会長 志波 克



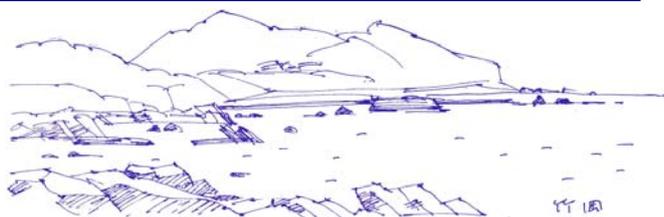
富津シティRC会長 渡辺 敏

本日は中村ガバナー、山田ガバナー補佐には、私共3クラブのためにご訪問頂き有難うございます。又、3クラブメンバーの方々、特に富津クラブ、富津シティクラブの皆様には例会日を変更しての御出席ご苦勞様であります。

偶々本年は、恒例の3クラブ合同例会幹事役が、私共富津中央クラブでありましたので、この合同ガバナー訪問の幹事役を務めさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。



〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcrcl>



幹事報告

榎本守男 富津中央RC幹事



3クラブの皆様にはお忙しい中、ガバナー公式訪問合同例会にご出席いただきありがとうございます。

46名の方のご出席で例会場が熱気で溢れています。これは久しぶりに会った仲間との友情交歓の賜物だとも思います。

今日の例会、又クラブ協議会を通してガバナーよりアドバイスしていただいた事をこれからの活動に活かしていただければと期待します。

報告事項

地区大会10月24日 25日です。各クラブ多くの皆様のご登録ありがとうございます。会場でお会いしましょう。

その他緊急の報告はありません。以上3クラブの幹事報告とさせていただきます。

富津RC幹事 神子 恒

富津シティRC幹事 浜名宏行



講話

ロータリーの変遷について

中村博亘 第2790地区ガバナー



講話要旨

先ず、10年程前の分区代理同期生である富津中央RCの志波会長に久しぶりにお会いできたことの喜びを述べられ、ロータリーの変遷についての講話を進められた。

時代への適応

2009-10年度、RI会長ジョン・ケニー氏は「ロータリーの未来はあなたの手の中に」をテーマに挙げられました。ロータリーの未来は、RI本部で作られるのではなく、われわれロータリアンの行動によって作られ、より良いロータリーを作るためには毎日、毎日の努力が必要だと述べておられます。

ロータリーは大きく変わろうとしております。今や時代の流れ対し adapt or perish (適合か崩壊か) であります。時代の変遷に合わせてロータリーも変わっていかねばなりません。そのためにCLPを続けなければならないのであります。

ロータリーの創始者ポール・ハリスもロータリーは常に幾度も変わらなければならないと言っております。ロータリーの創立当初は、相互扶助のお互いの助け合いからスタートしました。仲間に良いサービスをすればお金がたくさん儲かるとの考えです。いわゆる「He profits most who serves best」であります。

社会奉仕

1922年シェルドンは奉仕の大切さを訴えました。職業奉仕だけでは長続きしないとして社会奉仕の理念を取り入れました。ロータリーの奉仕は「利己と他利との調和」にあるとしました。

「無我の奉仕 Service, Not Self」から「超我の奉仕

Service, Above Self]へと、さらに2004年には公式標語として「He profits most who serves best」から「they profit most who serve best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」へと変えられました。

1923年のセントルイス国際大会で、ロータリーの運動の本質をめぐって原理と実践を体系的に纏め上げた34号議案が提起されました。いわゆる「決議23-34」と呼ばれるもので、「奉仕の実践に関する決議34号」であります。

決議の冒頭に社会奉仕は「一人一人のロータリアンが千差万別な社会生活において奉仕の心を実践することを言う」と記されております。言い換えればこの社会奉仕という概念は今日の4大奉仕であるクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕のすべてを包括して、各ロータリアンの行動の面からとらえたものであります。すなわち学んだ理念を実践し、自己と他利との矛盾を調和させることであります。ロータリーはWe serveでなくI serveであります。

1978年、ロータリー財団は、保健(Health)、飢餓追放(Hunger)および人間性尊重(Humanity)の3H補助金プログラムを創設し、それまでで最も包括的な人道的奉仕活動を開始しました。

最初の3Hプログラムはフィリピンの600万人の子供たちにポリオ(小児麻痺)の予防接種のワクチンを投与することでした。これを5年間続けのちにポリオ・プラス(ポリオ撲滅活動)がスタートしたのであります。

1947年から1987年の長きにわたってRI職業奉仕委員会は開かれず、1987年に40年ぶりに開催されました。1988・89年度にRI理事会は職業奉仕の声明を発表し、「職業奉仕は会員個人とクラブ双方の責任である」としました。また国際ロータリーでは今までパンフレットに「ロータリーは職業奉仕の団体である」と書いていましたが、1999年に発行されたパンフレットには「ロータリーは国際奉仕の団体である」という文章に変わりました。

RIの長期計画

ロータリー財団は長期計画として2017年に創立100周年を迎えることを踏まえ、2017年までに世界No. 1の奉仕団体を目指すことにしております。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように

することです。

グローバル補助金は次の6種類の重点分野に活用されています。

- ・平和と紛争予防/紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・母子の健康
- ・水と衛生設備
- ・基礎的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

CLP(クラブリーダーシッププラン)

CLPは地区リーダーシップの基本概念を地区レベルに適用した効果的なロータリークラブの枠組みとして、理事会が採用したものです。効果的なロータリークラブの不可欠な要素として

1. 会員基盤の増強
2. 地元社会及び他国の地域社会への奉仕
3. ロータリー財団への寄付と参加
4. 将来を担う指導者の育成

が挙げられ、これらを支えているのがCLPです。

2005年から世界の多くでCLPのプログラムは実践され、日本は最も遅れております。CLPは「決議23-34」と相反する点もあり、「決議23-34」はもはや国際ロータリーや奉仕の理念、原理を正確に表していないという理由で外し、歴史的な文献(Historical documents)にすることが諮られました。結局は残ることになりました。これに関しては「ロータリーの友2008年11月号」に詳述されていまして是非お読みいただきたいと思います。

最後に

今一番やらなければならないことは会員増強です。

「ロータリーを殺すには刃物はいらない、今まで通りにやればよい」と揶揄されますが、とにかく活動し、何かを実践して、やってみて悪いことは直していくことが重要でP,D,C,A(Plan, Do, Check, Action)のサイクルを着実に回すことが大切です。ロータリーは皆さんの手の中にあります。一人一人がその気持ちになることです。

(文責 須藤隆)

ニコニコ BOX(各クラブでニコニコBOX発表)
 富津中央RC 大須賀三智男 親睦担当



- * 中村博亘 例会・クラブ協議会に出席して
- * 山田修平 //
- 榎本守男 多くの皆様の出席を頂いて
- 大網庄一郎 //
- 原田 雅式 //
- 石渡 鋼 //
- 高島治雄 //
- 千葉一利 //
- 白石幸久 //
- 渡辺 務 //
- 佐藤信泰 //
- 大須賀三智男 //
- 須藤 隆 //
- * > 1, 0 0 0 円 合計26, 000円

出席報告(各クラブで出席報告発表)

富津中央RC 高島治雄 出席担当

	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21	17	4	0	80.95%
前回	21	17	4	0	80.95%

例会終了後参加者全員の記念写真撮影が行われた。

ガバナー公式訪問クラブ協議会

会長方針及び委員会実行計画について3クラブの代表者が発表し、その発表者ごとに中村ガバナーが講評をする形式で以下のプログラムに沿って進められた。

- 14:00 開会の言葉 富津中央RC 志波 克
挨拶 ガバナー補佐 山田修平
- 14:10 会長方針、委員会計画・相談 富津RC
- 14:30 // // 富津シティRC
- 15:00 // // 富津中央RC
- 15:20 講評 中村博亘ガバナー
- 15:30 閉会の言葉 富津中央RC 原田雅式

挨拶

山田修平 ガバナー補佐



協議会開催に当たって山田修平ガバナー補佐が挨拶でクラブ協議会の变化およびCLPの運営の心構えについて述べられた。

富津中央RCの発表者

- 会長方針 志波 克 会長
 - 委員会計画 原田雅式 クラブ管理運営委員長
 - // // 石渡 鋼 奉仕プロジェクト委員長
- 発表内容は割愛します。

全員記念撮影



3クラブ合同ガバナー公式訪問 2009.9.24
 中村博亘 ガバナー 山田修平 ガバナー補佐

富津RC 富津シティRC
 幹事クラブ: 富津中央RC